

公益社団法人 福岡県作業療法協会  
令和4年度 次世代を担う研究助成事業 審査項目

**【前提項目】**

以下の5項目のうち、1つでも、問題ありまたは該当なしの場合は、次の評定項目には進めない。

- (1) 研究代表者の応募資格：（問題なし・問題あり）
- (2) 倫理的側面：（問題なし・問題あり）
- (3) 利益相反に関する団体等がない（問題なし・問題あり）
- (4) 研究組織（共同研究者など）が適切である：（問題なし・問題あり）
- (5) 作業療法の効果検証に寄与する研究である：（該当する・該当なし）

**【評定項目】**

評定項目（I~V）総計16項目の評価

採点基準： 5：概ね十分， 4：8割程度， 3：6割程度， 2：4割程度， 1：2割程度， 0：不十分

**I. 研究課題と目的**

1. 研究の意義が作業療法の臨床の成果を示すという本制度の目的に合致している。
2. 臨床データを用いた研究内容となっている。
3. 研究の内容を的確に表わすような簡潔な課題名が記載されている。
4. 研究実施期間が設定してある。
5. 研究の目的が明確で具体的である。
6. 研究により、どのような成果が期待できるか具体的な記述がなされている。
7. 先行研究との関係性など、研究に至る背景が理解、把握できる具体的な記述がなされている。

**II. 研究方法（研究方法の妥当性、実現性）**

8. 研究対象（疾患名，人数，規模・地域など）が適切に設定されている。
9. 研究目的に沿った調査項目（どのようなことを調べるのか）となっている。
10. 研究目的に沿った評価尺度（標準化バッテリー，質問票，質的インタビューなど）となっている。
11. 研究目的に沿った合理的な調査手順になっている。

12. 分析計画が明記されている.

13. 研究デザイン（量的・質的研究など）に沿った分析方法であり，分析に要する期間などが適切である.

### **III. 背景となる研究実績**

14. 過去5年以内の研究の実施状況の記述がなされている.

### **IV. 研究費の内訳**

15. 研究の所要経費については，「課題研究助成金の対象科目」に基づき，研究目的に沿った適切な額が積算されている.

### **V. 研究組織**

16. 共同研究者の役割（データ収集，データ分析など）が具体的に記述されている.